



二輪草だより

平成21年12月号
発行:二輪草センター

病後児保育室「のんの」開設記念式典を開催しました

平成21年12月22日(火)午後5時より看護師宿舎1階の病後児保育室前ロビーにて、病後児保育室「のんの」の開設記念式典が開催されました。

当日は学長、病院長のご挨拶やテープカット、病後児保育室の名称・ロゴマークを考案して下さった学生さんの表彰式及び職員紹介を行いました。その後、保育室の見学会にはたくさんの方に来室して頂き、子ども達が遊具で楽しむ姿も見られ笑顔に包まれた時間となりました。



テープカット



保育室



保育室入口

★病後児保育室のご利用には、事前登録が必要です。申し込み、お問い合わせ等は二輪草センターにご連絡ください。

病後児保育室のロゴマークを紹介します

デザインの考案者は、道立旭川高等技術専門学校の

関村 香奈さんです。



ピンクの羊は医師・看護師・保育士を黄色の羊は回復期の子どもをイメージし、真ん中のハートは子どもと看護師さん達の信頼関係を表現しているそうです。また、緑色の葉は羽をイメージしています。全体に淡い色を使用し、子どもを抱っこしている優しい姿を表してくださいました。

二輪草センター主催 病後児保育室開設記念「イブニングセミナー」終了報告

12月1日(火)午後6時より看護学科棟1階大講義室で「第2回イブニングセミナー」が開催され、40名の方が参加しました。今回は12月24日に開設する病後児保育室「のんの」の開設記念講演でFMリバーパーソナリティー マダムケロコ氏を講師に『ケロコさんちの体験談～子育てから介護まで～』と題して講演をして頂きました。

ご自身の体験をもとに大変さを楽しみに切り替える方法を教えて頂き、終始笑顔の絶えない1時間でした。

印象に残ったのは、義母との介護生活の中で周囲から“偉いね”と言われるが偉いということではなく目の前に困っている人がいる、助けを求めている人がいるから貸すだけのこととお話されていたことです。義母との生活の中で気付くこともたくさんあり、介護する側される側それぞれの思いを考え「身近に介護をしている人がいたら、少しの時間でも自分の時間を与えて欲しい。」というメッセージを頂きました。

明るく楽しい家庭づくりを心掛けることで家族との会話が広がり、子育てにも良い環境へとつながっていること、褒めたり褒められることで、人は成長していくということを改めて感じました。

お忙しい中、講演をして頂いたマダムケロコさんにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



病児一時預かり室・バックアップナース利用状況 【11月20日～12月20日までの利用状況】

病児一時預かり室	登録者	33名	利用回数	0回
バックアップナース			活動回数	1回

* 病児一時預かり室は全職員がご利用になれます。

◆ 今後の日程 ◆

- ◆ 12月24日(木)病後児保育室「のんの」利用開始
- ◆ 12月29日(火)～1月3日(日)センターお休み
- ◆ 1月 6日(水)～8日(金)冬休みキッズスクール開催

二輪草だより・その他のお問い合わせ
旭川医科大学 二輪草センター
(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510
北海道旭川市緑ヶ丘東2条丁1日1-1-1
TEL: 0166-69-3240(サンニンヨレ)
FAX: 0166-69-3249
E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp

二輪草だより掲載記事は、ホームページからより詳しい内容をご覧いただけます。

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/homepagemain.html>

今月の川柳 テーマ「クリスマス」
「メタボでも サンタが似合う とりえある」(投稿者 無芸大食)
「年に一度 母の言うこと 聞く息子」(投稿者 サンタさん待ってるよ!)
皆様からの投稿お待ちしております。来月のテーマ「新雪」(締め切り1月20日)

